

清新第二中学校応援団実践報告書

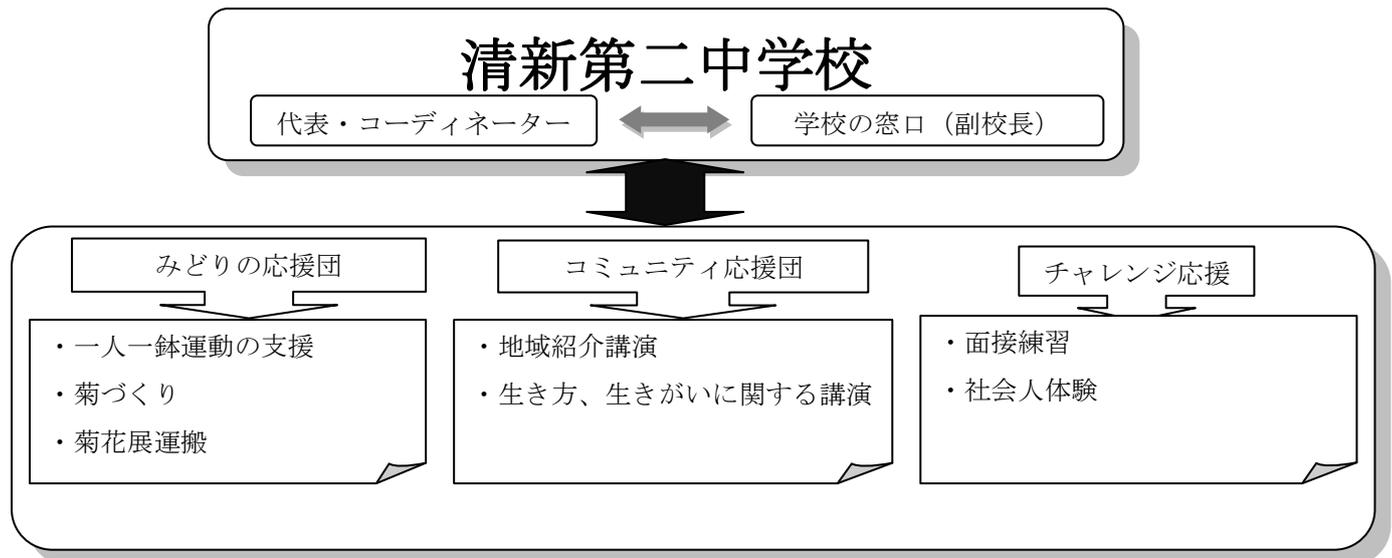
1 校長及び代表者氏名

学校長	清新第二中学校長	武田 信樹
代表	学校応援団 代表	石川 祐成

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
環境整備	みどりの応援団	<p>生徒が一人一鉢運動を実施。今年は、1年生75名が八重のひまわりを生徒が一人一鉢植えました。夏休み半ばには、背が低いながらも一つの茎からたくさんの花を咲かせました。正門前がとても華やかになりました。また2,3年生が植えた、日々草とマリーゴールドの鉢植えが正門前からバス停にかけて並び、バスを待つ方や通りがかりの方の目を楽しませました。夏休み中、平日はボランティア部員が水やりを行い、休日は学校応援団の方が水やり、雑草取り等の世話をしてくださいました。また、地域、保護者の方(応援団)を中心に、菊づくりを行っていただきました。本校けやき祭では3分咲き程度でしたが菊花展を開催しました。半月後の臨海小学校周年式典には満開となり式典に文字通り華を添えました。その他、清新二小や地域コミュニティ、臨海病院、老人ホームなどに展示させていただきました。</p> <p>展示場所への運搬も応援団の方で行っていただきました。</p>
地域教育	コミュニティ応援団	<p>一昨年度より、生徒たちの知らない、生まれたての清新臨海地区のお話や人間として大切にしてほしい気持ちを話していただきました。生徒がよりふるさと清臨地区を好きになり、やがてはこの地域を背負って立つ人に育ててほしいという願いを込めています。</p> <p>今年度は、3月にIT関係の方をお呼びして、生き方を考える講演を行う予定です。</p>
社会教育	チャレンジ応援団	<p>3年生の進路決定の上で、重要なポイントとなる面接。初めて面接を受ける生徒もたくさんいます。社会人として活躍なさっている応援団員のみなさんの手をおかりし、面接へ臨む態度、身なりを重点に教えていただきました。</p>

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・生徒の心の成長を支える活動となった。
- ・活動が地域貢献となった。
- ・生徒が育っている地域に愛着をもつことができた。
- ・地域の方と生徒が知り合い、触れ合うことができた。

<課題>

- ・コミュニティ応援団に依頼する講演のテーマの設定と講演をいただく方の人選に苦労した。
- ・チャレンジ応援団を開催する日程づくりに苦労した。
- ・夏場の一鉢運動の手入れや、菊づくりにおける、熱中症対策には細心の注意が必要である。

5 学校応援団 代表 より

今年度は、昨年度と同様の活動を行いました。みどりの応援団も少しずつ団員が増え、回を重ねたこともありたくさんの大輪の菊の花を育てることができました。臨海小学校はじめ、飾らせていただいた施設で喜んでいただけたことが何よりもうれしく思いました。清新二中が地域に貢献できていることを実感しました。また、生徒たちの植えた可愛い花も校門前で道行く人、登下校の生徒の心を和ませてくれました。応援団員もとても充実した気持ちをもつことができました。

6 学校長より

自分の植えた草花がきれいな花を咲かせた時、大人も子供もとても優しい顔をします。そして他の人が植えた草花にも愛情を持って接することができるようになります。この小さなことも心の教育と考えます。さらに近所のおとな（おじさんやおばさん）と一緒に草花を育てることで生まれる連帯感が地域を愛する心に結びつくことを願っています。

コミュニティ応援団、チャレンジ応援団では、直接地域の大人に面接の受け方や地域、生き方について教えていただきました。生徒たちにとってよりこの地域が身近でありがたいものになったことでしょう。やがて、大人になった生徒たちがこの地域で、次の世代を育てる、そんな大人になってさらに応援団、地域を盛り上げるようがんばってほしいものです。